

第II部

当院の取り組み 乳腺外科

(地方独立行政法人京都市立病院機構京都市立病院 乳腺外科)

森口 喜生

要 旨

当科では乳癌手術はもちろんのこと、乳房再建術も積極的に施行している。2016年次の乳がん手術は100例で乳房温存率は47%であり、乳房再建手術は一次再建術が15例、二次再建術が1例の合計16例であった。また乳腺がんカンファレンス、病棟カンファレンス、骨転移ボードをはじめ、積極的にチーム医療に取り組んでいる。京都市立病院乳腺外科の診療内容、2016年次の実績について詳細に報告した。

(京市病紀 2017; 37(2): 34-35)

Key words : 乳房再建術, チーム医療

第25回 京都市立病院地域医療フォーラムでは、若年性乳がんをテーマに開催されました。これに関連し、当院での乳腺外科の診療について説明させていただきます。当院乳腺外科のスタッフは部長 森口喜生(日本乳癌学会乳腺専門医・指導医, 日本外科学会専門医・指導医), 医員 吉岡祥子(日本乳癌学会乳腺認定医, 日本外科学会専門医), 専攻医 太田知佳の3名です。当院の乳腺診療は、外来から緩和医療まで幅広く行っています(表1)。

手術では、乳がん手術はもとより、人工乳房や自家組織を用いた乳房再建術を積極的に施行しています。2016年次の乳がん手術は100例で乳房温存率は47%でした(図1)。乳房再建手術は16例で、一次再建術が15例、二次再建術が1例でした。乳房再建術は、大きく分けて人工乳房を用いるもの(エキスパンダー, インプラント), 広背筋皮弁を用いるもの(latissimus dorsi: LD), 腹部の皮膚脂肪弁を用いるもの(deep inferior epigastric perforator flap: DIEP皮弁)などがありますが、2016年次は各々4例, 5例及び8例施行致しました(図2)。

チーム医療としては、乳腺がんカンファレンスミーティ

ング(cancer board meeting:CBM)を毎週木曜日に行っています。参加者は、乳腺外科, 放射線診断科, 放射線治療科, 及び病理診断科の医師, 臨床検査技師, 放射線科技師, 看護師等の多職種にわたり、手術患者等の画像診断, 病理診断, 手術等について検討を行っています。

また毎週木曜日の9時から、女性病棟で、乳腺外科医師, 病棟看護師, 緩和ケア科看護師, 薬剤師, 栄養士, メディカルソーシャルワーカー(medical social worker: MSW)等が参加し、入院患者, 入院予定患者を対象に、

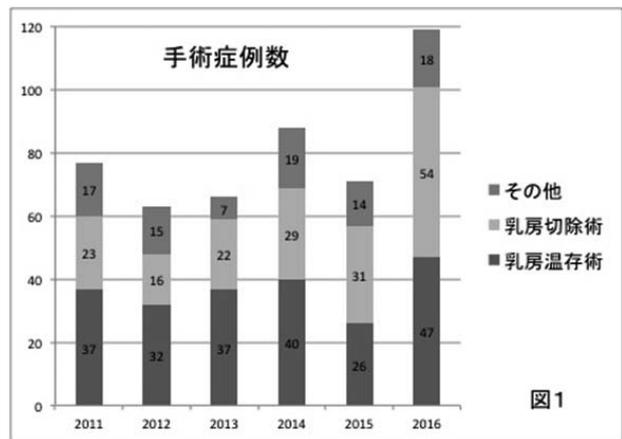


図1

表1

(表1) 当院の乳腺診療	
外来	乳腺外科・乳がん看護外来
入院	4B病棟(女性病棟)
検査	エコー・マンモグラフィー・乳房MRI CT・骨シンチグラフィー・PET-CT・ 細胞診・針生検・ マンモトーム生検(ステレオガイド・エコーガイド)
手術	乳房温存手術・乳房切除術・乳房再建手術 ・センチネルリンパ節生検
化学療法	分子標的治療 入院・外来化学療法センター
放射線治療	
チーム医療	乳腺CBM・病棟カンファレンス・骨転移ボード
緩和医療	乳がん患者会

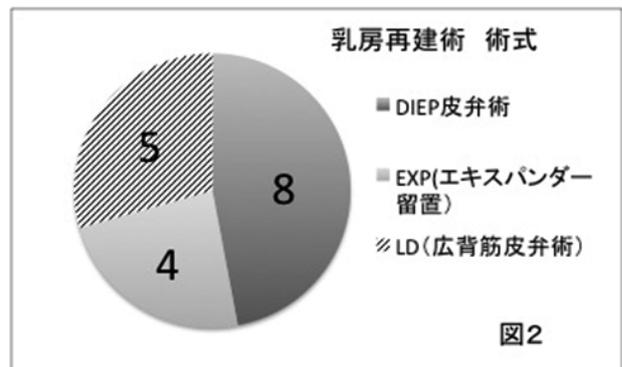


図2

治療経過，食事状況，薬剤の副作用，緩和医療，在宅ケアの導入などについて早期から情報を共有し，スムーズな患者対応が行えるように努めています。また，骨転移ボードは，骨転移を有するがん患者に対する入院・外来での治療方針決定，ケアを迅速に行うため設立されました。主治医の要請でその都度臨時開催され，主治医，放射線治療科，放射線診断科，整形外科等の医師，理学療法士，放射線治療認定看護師，がん看護認定看護師，病棟看護師，MSW，薬剤師等が一同に集まり画像診断，手術・放射線治療等の治療方針，安静度，骨折のリスク，緩和ケアの導入などについて迅速に対応を検討し主治医にフィードバックしています。

また京都市立病院では，乳がん患者会「ビスケットの

会」を運営しております。乳がん患者，及びご家族が会員となり，院内外のボランティアの方々にご協力頂いています。年3回の定例会では，乳がん情報等の講演会を行い，年3回の会報を発行しています。またレクリエーションも行い会員同士の親睦を深めています。毎月第3月曜日には，院内で乳がんサロンを開催し，会員様同士が自由参加で情報交換等を行っています。

当院では乳がん手術は，もとより乳房再建術にも積極的に取り組んでいます。多職種によるチーム医療や患者会への取り組みについてご紹介をさせて頂きました。今後とも当院の乳がん診療についてご指導，ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

Abstract

Activities of Breast Surgery Department in Our Hospital

Yoshio Moriguchi

Department of Breast Surgery, Kyoto City Hospital

We are performing not only breast cancer surgeries but also reconstruction surgeries.

In 2016, we operated on 100 breast cancer patients and the ratio of breast-conserving surgery was 47%.

Breast re-construction was performed on 16 patients (15 primary cases and 1 secondary case). We are actively practicing collaborative medical care. Also, many conferences are being held with doctors in other departments and paramedical staffs, such as cancer board meeting, ward conference for hospitalized patients and board for patients with bone metastasis.

(J Kyoto City Hosp 2017; 37(2):34-35)

Key words: Breast re-construction, Collaborative medical care